

**平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》**

事業概要	事務事業名	防犯対策事業						担当部	環境交通部			
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	交通防犯課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	交通防犯係		
	総合計画 分野別計 画	主目的	2 環境交通		9 防犯・交通安全		1 防犯活動の充実を図る					
		副目的	9-2									
	予算区分	款	2	項	7	目	4	大	4	中	1	
	根拠法令・個別計画											
	実施・運営 方法	<input type="radio"/> 市が直接実施・運営			<input type="radio"/> 地域住民組織			一部又は全部委託				
		指定管理・外郭団体			名称:							
		NPO・その他			名称:							
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	防犯ボランティア団体、地域の自主パトロール隊、防犯灯設置などを積極的・長期的に支援して、防犯活動や防犯対策の促進を図る。また、自分の身の安全は自分で守るという意識を強くもち、地域と密着しながら防犯意識の高揚を図る。											
内容 (手段)	<p>市民が安全で安心した生活ができるように市民自らが自主防犯パトロール隊を結成して防犯活動を実施した。地域において安全で安心なまちづくりに資する活動を行っている団体を支援するために防犯パトロールへの装備や活動費の補助、防犯パトロール隊と連携しながら防犯意識の高揚を図るため市民総決起大会を開催した。</p> <p>また、防犯に対する意識を高めて行くことが必要であり、広報や護身術教室等の防犯講座を警察署と連携を図り行うことにより、犯罪に合わないような方法や犯罪状況、犯罪手口等の情報を提供するとともに、夜間の路上等の犯罪を未然に防止するため、防犯対策に効果的な防犯灯の設置や維持管理の補助を行った。</p> <p>・防犯パトロール活動費補助額 7,396,495円〔H22年度〕          ・防犯灯の設置及び維持管理補助 設置費 21,160,805円〔H22年度〕          維持管理費.. 37,295,855円〔 " 〕</p>											
受益者負担		内容										

			単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	64,879	65,852
正職員			従事者数	人	0.65	0.65	0.65
			人件費	千円	3,487	3,487	3,487
その他職員			従事者数	人	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0
費用合計			千円	68,366	69,339	82,687	
対前年比		%		101.4			
財源	一般財源		千円	68,366	69,339	82,687	
	国・県支出金		千円	0	0	0	
	その他財源		千円	0	0	0	

業	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23
		績	防犯パトロール団体(総数)		隊	目標	56
実績	57					68	
防犯灯設置数			灯	目標	772	484	392
				実績	532	497	
防犯講座回数			回	目標	30	30	40
				実績	36	33	
成果指標	成果指標名	単位		H21	H22	H23	
	刑法犯認知件数	件	目標	—	—	—	
実績			3,397	3,018			
講座受講者数	人	目標	2,000	2,000	2,200		
		実績	2,070	2,000			

事業の自己評価(一次評価)	事業目的の達成状況	区長会や各種会議などにおいて、防犯パトロール隊の発足や防犯灯の設置を呼びかけたことにより、今年度の目標数であった10団体を上回り、11団体が新規に発足し、防犯灯においても目標灯数を上回ることができた。また、防犯講座や広報などを使い、犯罪発生状況や防犯対策の啓発などを行ったことの相乗効果により、刑法犯認知件数の減少につながった。				
	事業を廃止・休止したときの影響	地域における連携が薄れている今、防犯パトロール活動は、地域力を高める重要な活動である。廃止をすれば、各防犯パトロール団体の継続的な活動が不可能となり、地域力や市民の防犯意識が薄れてしまい、犯罪の増加に繋がる。また、夜間の防犯対策に効果的である防犯灯の支援がなくなれば、夜間の犯罪の増加に繋がる。				
	判定	B	市が実施(改善が必要)			
	判定理由	安全で安心して暮らせるまちづくりは、市民の切なる願いである。地域と行政と警察などとの連携を図り、継続的に防犯パトロール活動を行うことが、犯罪減少に効果的なため、今後も継続して支援していきたい。しかし、全体的にボランティアやパトロール隊の隊員の高齢化に伴い、若手の加入やパトロール隊のリーダーや隊員等の後継者不足に悩んでいる。 また、防犯灯の設置や維持においては年々経費がかさみつつある。				
今後の事業の方向性(今後の取り組み・改善計画等)	今後においては、防犯パトロール隊の未発足区があるため、区長会や講座などを通じて発足を呼びかけるとともに、防犯パトロール発足区同士で情報交換などの連携を行い、さらなる防犯パトロール活動の向上を図って行く。 市民の防犯意識の持続を図ることが重要であり、防犯意識の持続や更なる意識の向上を図るような取り組みを実施する。また、若手の育成のため中学生などの学生への参加を呼びかけたり、警察署と連携しながら、代表者講習会などの開催によりリーダーの育成を図って行く。 防犯灯においては、今年度から省エネで電球交換などのランニングコストを減少させ、長寿命のLED防犯灯の推奨を行う。					

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)		
	判定理由	外部評価対象事業			